



ひたちなか市立勝田第二中学校 三年

身近なことだから気付いてください 永尾美晴

みなさん、イクメンという言葉についてどう思いますか。

イクメンとは「家事や子育てに積極的な男性」という意味だそうです。みなさんはイクメンと聞くと「かつこいいな」と思うのではないでしょうか。私も以前は同じ考えでした。しかし、教科書のある一文を読んだことで疑問を持つようになりました。

「イクメンという言葉はあるのになぜイクウーメンとい
う言葉はないのか」

差別が解消されてきていると思います。それに、男女差別はあってはいけないものだと誰もが考えるようになったのではないか。しかし、私たちの生活の中にはまだ男女差別が残っていると思います。

私自身も最近までは身近に男女差別があることなんて気付いてもいませんでした。私がそのことに気付いたのはある二つの出来事があつたからです。

一つ目は、私が保育園に通っていたときのことです。私の両親は二人とも仕事をしています。ですが、母の方が早く仕事が終わるので、毎日母が私を迎えに来てくれました。でもたまに、父が私を迎えてくれることがありました。そうすると、父の周りにいた大人たちが「お父さんが迎えに来てえらいね。」と言っていたそうです。母が私のため

に仕事を早く終わらせて迎えに来ててくれたとしても、「えらいね。」とは言われません。私はまだ幼かったのでもう覚えていませんが、そのときは何とも思つていませんでした。でも今の私には、まるで「母親が迎えに来ることは当たり前だから、父親が迎えに来ることは珍しい。」と言つているように聞こえてなりません。母親が迎えに来ることは決して当たり前ではないのです。

もう一つの出来事もお話します。私の父は料理をするのがとても得意です。私の家族全員父の料理が大好きです。でも、父は平日仕事が忙しくてご飯を作る時間がありません。そのかわり休日は率先して料理をしてくれます。そのことを友達や親戚の人たちに話すと、「お父さんが作ってくれるなんてすごいね。」「お父さんが作るならお母さんも助かるね。」と言つてくれました。そのとき私は嬉しい気持ちになりました。父のことをほめてくれたように感じたからです。しかしこうも思いました。「お父さんが料理をするのって珍しいの。」私の母は毎朝四時半に起きて家族のためにご飯を作つていても関わらず、「すごいね。」と言わることは全くありません。母がおいしいお弁当を作つてくれてもみんな何も言いません。父も母も心をこめてご飯を作つてくれています。母親が料理すること

は当たり前ではありません。そう考えると私は悲しい気持ちになりました。

また他にも、私が将来就きたい職業においても差別が存在しているのではないかということに気付きました。私の将来の夢は医療現場で働くことです。その医療現場でも医師と看護師の男女比率には差があります。みなさんも医師は男性、看護師は女性というイメージはありませんか。なぜなのだろうかと思い調べてみたところ、その背景には、女性の医師は子育てを理由に休職や離職をすることが多いからだと分かりました。また、看護師は女性というイメージが強く根付いていて男性のなり手が少ないということがあります。「男性」「女性」というイメージのせいでその職に就きづらくなるのはおかしいと私は思います。

私たちが日々何気なく発している言葉や態度が男女差別につながっているかもしれません。そして、それは男女差別だけではなく、人種差別や障害者差別など様々な差別でも同じです。だからといって、いきなりそうした様々な差別をなくすのは難しいと思います。しかし、自分たちが見方や行動を少しずつでも変えていけば、きっと差別なんてこの世界からなくなるはずです。私はそのような世界になっていくと信じています。